

かべ新聞

第61号

2013年
8月5日

J R 東海労働組合
新幹線地方本部
東京車両所分会

さあ、協約改定の交渉がスタートします！

あわせて先ずは第一弾・『三車両所』共通要求編！

これから夏本番を迎えるところですが、8月中旬より早くも秋の「協約改定」の交渉がスタートします。

また、協約改定交渉以外でも多くの職場諸要求が山積しています！

現場からも声を上げ、職場環境を改善しましょう！

- ①東京仕業検査車両所・東京交番検査車両所・東京修繕車両所の三車両所に導入された、いわゆる『復帰教育』は、見せしめ教育であるため直ちに中止すべきだ。
- ②58歳の社員が7月1日付で出向に出されているが、54歳原則出向について、年度初に具体的な人数も含め、前広に計画予定を明らかにすべきである。
- ③通勤バスを増発せよ。
具体的には品川発7時00分の新設と7時20分以降から8時00分までは、5分毎の設定とせよ。(休日ダイヤは10分間隔)
また、構内操縦は11時30分勤務開始の勤務がある。この勤務指定者に対して会社は「品川発10時30分の通勤バスに乗ること」と徹底している。この時間帯は、運行本数も少ないので、10時45分発を新設すると共に、現在も設定されている11時発のバスでの通勤までを認めるべきだ。
さらに、この勤務終了に合わせ庁舎前20時30分発を新設せよ。
- ④一作業に対する提出書類物(調査報告書・故障報告書・チェック表等)が多すぎる。
時間的にも余裕がないので簡素化されたい。
- ⑤検修庫の夏季の暑さ対策及び冬季の寒さ対策を強化すること。
特に夏期における屋根上は、温度が異常なほど上昇する。パンタグラフ点検場所のスポットクーラーを新品に交換すると共に増大して欲しい。
- ⑥交検9番線の屋根上海側には転落防止用の柵がないため危険である。
転落防止用柵を設置されたい。
- ⑦第一検修庫及び第二検修庫のピット内に水がたまり、作業上危険であるためピット内の排水対策を行われたい。
- ⑧第二検修庫は、特に老朽化のため労働災害事故防止及び、運転事故防止の観点から、床のコンクリートが欠損して段差が発生している箇所が多数ある。早急に一斉点検を実施し対策をおこなうこと。
- ⑨第二検修庫と総合庁舎間に屋根付きの歩行通路を設置されたい。

社員みんなが切望している要求事項です。

私たちはより良い職場環境を構築するために奮闘します。